

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	卒業制作	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	全コース共通		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	180時間
単位数	6単位		開講時間	火曜 1時限目～、水曜 1時限目～		授業形態	実習
教科書/教材	グループごとに必要な資料を用意する						
担当教員情報							
担当教員	山本 純士、清水 孝之、三寫 秀三、藤本 海艶				実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア	
学習目的							
情報処理科で学んださまざまな知識や技術を基に、総括として目的を持ったアプリケーション・システムを制作する。グループごとに作業に取り組み、自ら必要なことを学びつつ、他のメンバーと協力しあいながら、これから社会人として必要とされる協調性やコミュニケーション力を身に着ける。プロジェクトを進める上で必要なスケジュール管理、課題管理、情報管理などを意識しながら、個人ごとの作業状況を把握し、複数の人間が関わる実務に近い開発の体験を行うことを目的とする。							
到達目標							
学んだ知識や技術を集約し、グループで協力しながら1つの作成を制作し、卒業展で発表することが目的となる。一人で作業するだけではなく、他のメンバーと協力・連携をすることを意識しながらスケジュール通りに作業をすることができるようになる。コミュニケーションの重要性を理解し、自分のことだけではなく、他のメンバーの状況を確認しながら必要であれば軌道修正を行い、作業ができるようになる。また作業期間が決まっているため、期間内に決められた目標を達成できる能力を身に着ける。							
教育方法等							
授業概要	グループを作成し、テーマを1つ決め目的を持った作品を制作する。実装する機能やメンバーの役割分担、スケジュールなどを決定後、設計書を作成しプログラミングを行う。						
注意点	授業開始時にグループを作成し、そのグループでテーマを決め、最後まで作業を行う(途中でのグループ変更はできない)授業で必要となる資料はグループ単位で準備すること。計画と役割分担はしっかり行い、バランスをとること。評価はグループ単位で行うため、メンバーそれぞれが責任を持って作業をすること。総授業時間の4分の3以上出席していない場合、評価対象にならない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	40%	成果物を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	20%	個人・グループごとの作業内容の報告書の内容・提出状況の評価する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	中間発表、最終発表、卒業展展示などについて評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(6)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	内容の説明、グループ作成(1)			授業内容を理解する。制作グループを決めることができる			
2回	グループ作成(2)、リーダーの決定			制作グループを決定し、リーダー、副リーダーを決めることができる			
3回	テーマの決定			作成するシステムのテーマを決めることができる			
4回	情報収集、仕様や環境の決定(1)			実装する機能、開発する環境などを決定できる			
5回	情報収集、仕様や環境の決定(2)			実装する機能、開発する環境などを決定できる			
6回	スケジュールの説明と設定			今後のスケジュールを確認し、グループと個人のスケジュールを設定できる			
7回	第一回プレゼンテーション			グループごとにテーマや実装機能、環境などをまとめ、発表ができる			
8回	グループごとに作業(1)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
9回	グループごとに作業(2)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
10回	グループごとに作業(3)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
11回	グループごとに作業(4)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
12回	グループごとに作業(5)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
13回	グループごとに作業(6)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
14回	グループごとに作業(7)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
15回	第二回プレゼンテーション			ここまでの作業状況を資料にまとめ、グループごとに発表を行う。			
授業計画(16回～30回)							
回	授業内容			各回の到達目標			
16回	グループごとに作業(8)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
17回	グループごとに作業(9)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
18回	グループごとに作業(10)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
19回	グループごとに作業(11)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
20回	グループごとに作業(12)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
21回	グループごとに作業(13)			グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
22回	第三回プレゼンテーション			ここまでの作業状況を資料にまとめ、グループごとに発表ができる			
23回	グループごとに作業(14)			グループごとに作業。実装機能ごとに動作確認を行う。終了時には報告書を作成し、提出できる。			
24回	グループごとに作業(15)			グループごとに作業。実装機能ごとに動作確認を行う。終了時には報告書を作成し、提出できる。			
25回	グループごとに作業(16)			グループごとに作業。実装機能ごとに動作確認を行う。終了時には報告書を作成し、提出できる。			
26回	グループごとに作業(17)			グループごとに作業。実装機能ごとに動作確認を行う。終了時には報告書を作成し、提出できる。			
27回	最終プレゼンテーション			完成した成果物について、発表ができる			
28回	卒業展準備(1)			卒業展に展示する準備を行う。成果発表会の練習・準備ができる。			
29回	卒業展準備(2)			卒業展に展示する準備を行う。成果発表会の練習・準備ができる。			
30回	成果物、資料提出			成果物、作成した資料やマニュアルなどをまとめ、提出する。			